

試験名

FLAGM 付随研究1. **終了**

再発及び難反応性白血病細胞におけるフルダラビンによるシタラビン三リン酸生成増加に関する
biochemical modulationのin vitroでの検討

研究事務局：山内 高弘（福井大学医学部 第一内科）

概要・目的

in vitro での白血病細胞内 ara-CTP のフルダラビンによる生成増加率を測定し、臨床効果との相関を検討します。

対象

再発及び難反応性急性骨髄性白血病に対するFLAGM療法に登録された成人急性骨髄性白血病患者で、治療開始前に研究参加施設において本研究に参加することに文書で同意が得られた患者さんです。

目標症例数

40 例（原則として再発及び難反応性急性骨髄性白血病に対する FLAGM 療法に登録された全症例）